

地方公演ご案内

人形浄瑠璃

文楽



文楽とは

物語を**語**る「太夫」

情景を**音**で表現する「三味線」

一体の人形を三人で**遣**う「人形」

この『三業』が一つとなり、
舞台から客席へ感動をお届けする
世界に誇る我が国の代表的な
古典芸能です。

写真:青木信二

■公演期間と地域

2021年

10月公演

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30/31

2021年9月30日(木)～10月17日(日)

近畿・中部・北陸・関東・東北・北海道の各方面

2022年

3月公演

日	月	火	水	木	金	土
27	28	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2022年3月3日(木)～3月21日(月・祝)

九州・四国・中国・近畿・中部・関東の各方面

■上演予定演目

昼の部

午後二時開演(標準開演時間)

解説 (あらすじ)

文楽の解説やあらすじを出演者がわかりやすくお話しし、みどころをお伝えします。

いちの たに ふたば ぐん き 一谷嫩軍記

くまがい ざくら
熊谷桜の段

くまがい じん や
熊谷陣屋の段

<みどころ>

「^{いっし}一枝(子)を^き伐らば一指(子)を^{いっし}剪るべし」。一谷の源平合戦を題材に取った作品で、その謎解きのような言葉の真意はどこにあるのか、登場人物たちの深い苦悩・悲しみを通して次第にバールがはがされていきます。悲劇を豪快に描く、時代物の代表的な傑作のひとつです。



熊谷桜の段



熊谷陣屋の段

夜の部

午後六時開演(標準開演時間)

解説 (あらすじ)

文楽の解説やあらすじを出演者がわかりやすくお話しし、みどころをお伝えします。

近松門左衛門=作 野澤松之助=作曲・脚色
そう ね ざき しん じゅう

曾根崎心中

いく たま しゃ ぜん
生玉社前の段

てん ま や
天満屋の段

澤村龍之介=振付
てん じんのもり

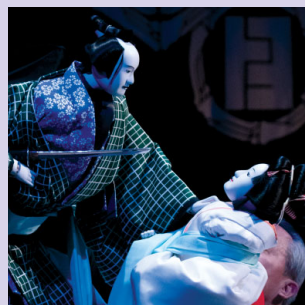
天神森の段

<みどころ>

それまで時代物だけだった浄瑠璃に、「世話物」というジャンルを確立した記念碑的な作品で、初演から三百年以上経った今でも絶大な人気を誇ります。天才・近松門左衛門により描かれた江戸時代の究極の愛の形を、どうぞ現代の皆様の目でお確かめください。



生玉社前の段



天神森の段

■公演契約金

宿泊を伴う場合		
◎平日	一日	3,630,000円(消費税込) 【消費税抜き本体価格 3,300,000円】
◎土日祝	一日	3,850,000円(消費税込) 【消費税抜き本体価格 3,500,000円】

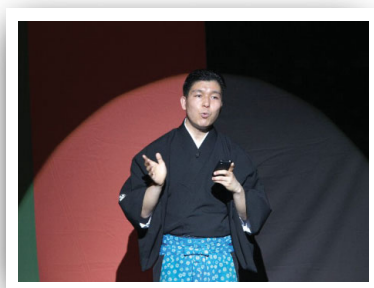
大阪近郊で宿泊を伴わない場合		
◎平日	一日	3,190,000円(消費税込) 【消費税抜き本体価格 2,900,000円】
◎土日祝	一日	3,410,000円(消費税込) 【消費税抜き本体価格 3,100,000円】

●経費負担区分(主な目安)

公演契約金に含まれるもの	公演契約金に含まれないもの
●出演料 ●大道具費 ●大道具人件費(舞台監督料を含む) ●交通費 ●宿泊費(宿泊を伴う地域のみ) ●輸送費(通行料も含む) ●照明プランナー費(1名) ●字幕機材および字幕オペレーター費 ●著作権使用料(広報用写真素材の支給も含む) ●出演者および帯同スタッフの食事 ●事務経費 ●消費税	●公演にかかる会館使用料・楽屋使用料、付帯設備使用料および備品借用料(舞台管理経費および増員経費も含む) ●現地照明費(ピン操作のできる技量の方を3名)※ ●搬出入補助経費(5～6名程度)※ ●本火使用等の所轄消防への禁止行為解除申請手続(使用時のみ) ●舞台上で使用する現地調達が必要な消え物(使用時のみ) ●音響経費 ●影アナウンス経費 ●広報および宣伝広告費 ●ケータリング費(出演者向けの簡単な茶菓の提供) ●主催者側スタッフ(現地手配スタッフも含む)の食事 ●券売および公演当日の表方の運営

※主催者様には現地照明係員3名、大道具の搬出入の手伝い5～6名をご手配いただきます。
それぞれの手配ならびに経費は主催者様のご負担となります。

○原則として一日二回公演(昼の部・夜の部)を前提とした公演契約金を表示しています。ただし、同じ演目を一日二回上演すること、昼の部と夜の部の演目を入れ替えて上演することはできません。また二日間や三日間続けて上演したいなど、変則的なパターンをご希望の場合はお気軽にご相談ください。



■公演を成功に導くために

字幕付き 上演となりました

- ご要望の多かった字幕を導入しており、お客様にもわかりやすいと好評です(会館の条件によっては技術上、お断りする場合があります)。
- チラシ・ポスターは文楽協会で作成したものを、実費でお分けすることができます。
- 館内広報にお使いいただけるDVDをご用意します。
- 文楽って難しい? そんなイメージが一気に払拭でき、券売にも効果的な事前レクチャーの開催が可能です(日程・料金別途要相談)。

■公演のお申し込み締切

【2021年10月公演】 締め切り/2020年10月23日(金)

【2022年 3月公演】 締め切り/2020年11月27日(金)

主催事業がまだ決まらない…締め切りに間に合わない場合や上記締め切り後でもお気軽にご相談ください。また、予定していた主催事業の急な変更など、スケジュールがうまく調整できればお受けできる場合も多々ございますので、まずはご相談ください。

■助成について

本ご案内「文楽地方公演」は芸術文化振興基金(伝統芸能の公開助成)の助成を受けることにより、全国画一の公演価格で文楽公演を提供することが可能となるものです。本ご案内については全国すべての会場における文楽公演について、一つの助成活動とした上で、芸術文化振興基金助成を文楽協会が申請いたします。従いまして、各会館様、財団様におかれましては、同種助成金(音楽堂活性化等)・文化庁助成について申請をお考えの場合に、文楽公演部分については重複申請とならないよう特にご留意ください。

■劇場機構条件

※一例ですので、条件に満たない場合はお気軽にご相談ください

- 舞台間口…8間以上(プロセシウム間口で)
- 舞台奥行…4間以上(どん帳から)
- 舞台袖…1間半(上手・下手ともに)
- 吊り物バトン…4本程度(どん帳線より2間下がったところから舞台奥へ)
- 貴館所有の平台と箱馬の数と寸法をお知らせください(間口8間、奥行2間、高さ1尺くらいの二重舞台を組める平台・箱馬が必要です)
- 太夫台を上手客席に張り出します(どん帳ギリから高さ2.1尺、奥行5尺で長さ21尺の台を持ち込みます)ので、その分客席がつぶれることになります。
- 基本的に乗り打ちとなります。夜の部の上演終了から片付け・撤収には2時間程度必要です。
- 4トントラック二台が駐車できるスペースが必要です。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては
公演の開催を中止する場合がございます。

■お問い合わせ・お申し込み先

別紙(送り状裏)「文楽公演申込書」にてお申し込みください。舞台の平面図・側面図・照明設備図・客席図・楽屋図をご同封ください。

〈ご送付・お問い合わせ先〉

公益財団法人文楽協会

〒542-0073 大阪市中央区日本橋 1-12-10
TEL 06-6211-1350 FAX 06-6211-3609
地方公演担当 水落 学(みずおち)

昼の部

◇一谷嫩軍記

熊谷桜の段・熊谷陣屋の段

一ノ谷での源平の合戦。「一枝を伐らば一指を剪るべし」と記された制札を、源義経から渡され、若木の桜を守れと命じられた熊谷直実。一騎討ちとなった、我が子と同年輩の平敦盛——実は、後白河院と、熊谷にとって命の恩人である藤の局との間の子——を討ち取りました。

初陣の息子が心配で、武蔵国から旅をして来た妻相模。追手を逃れ、偶然にも熊谷の陣屋へ駆け込み、我が子の仇と迫る藤の局。そんな二人に熊谷が語ったのは、子を失った両親の嘆きを思い、組み敷いた敦盛を助けようとしながらも討たざるを得なかった合戦の様子と、敦盛が最期まで母の身を案じていたことでした。

いよいよ首実検。熊谷は、制札に従い敦盛を討ったとして、我が子の首を義経の前に。制札の真意を、「一子を切らば一子を切るべし」、院の子である敦盛を切るなら、自身の子を切れと判断したことは、正しかった

のか？あるいは間違いか？熊谷の問に、義経は首を敦盛と認めました。

敦盛は熊谷に匿われ無事。思いもよらない息子の死に慟哭する相模。大切な子を失い、もはや俗世に何の望みもない熊谷は出家を志し、その場で髻を切って法然のもとへと向かいます。

宝暦元年(1751)、豊竹座で初演された五段の時代物で、今回上演される三段目までを執筆して並木宗輔が亡くなり、残りの段を他の作者たちが補いました。

熊谷が一ノ谷(神戸市須磨区)の合戦で敦盛を討った話は『平家物語』の中でも有名で、子に死なれる父親の悲しみを思いやり、我が子のような若武者を討たねばならず苦しむ姿が描かれています。そこに、実はそれは我が子であったというひねりを加えた本作では、熊谷の内面により深い苦悩と悲しみが秘められ、「16年もひと昔。夢であったなあ」と、息子への思いが、心の奥から絞り出されるように語られるのが、印象的。悲劇を豪快に描く時代物の代表的演目です。

夜の部

◇曾根崎心中

生玉社前の段・天満屋の段・天神森の段

離れては生きていられない二人——醤油屋の手代徳兵衛と天満屋の遊女お初。

徳兵衛は、店の主人からもちかけられた縁談話を断固拒否。ついに破談となり、欲深い継母が知らぬ間に受け取っていた持参金を主人に返すことに。期限は明日。金はすでに継母から取り戻して来てありましたが、激怒した主人に大坂追放を言い渡された身。お初と会えなくなる…。嘆く徳兵衛を力づけ、金を一刻も早く主人に返して怒りを和らげるよう、勧めるお初。

ところが、その大切な金を、徳兵衛は油屋九平次に頼み込まれて貸してしまっており、この日になって実は騙し取られたことが判明。それどころか、証文を偽造して九平次から金をゆすり取ろうとした犯罪者にしたてあげられてしまいました。

身の潔白を証明するには死ぬよりほかない…。天満

屋へ姿を見せた徳兵衛から覚悟を聞かされたお初は、一緒に死ぬことを決意。深夜、徳兵衛と手を取りあって、曾根崎の天神の森へ。

元禄16年(1703)、竹本座で初演された近松門左衛門の世話物第1作。実際にあった曾根崎(大阪市北区)での心中事件のわずか一月後に上演、大好評を博しました。同時代の題材を扱うことのなかった浄瑠璃にとって画期的な作品です。その後は上演が絶え、昭和30年(1955)に、野澤松之輔の脚色、作曲により、四ツ橋文楽座で復活されました。

店の縁の下に身を潜める徳兵衛が、その上に腰かけたお初の足を手に取り、言葉を交わしあうこともなく、人知れず心中の意を確かめあう「天満屋」。「この世の名残、夜も名残…」、有名な道行で始まり、原作通りではないものの、心中する二人の思いが迫り来る、悲しくも美しい「天神森」。原作で近松がその死を「恋の手本」と讃えた二人の強い結びつきが胸を打つ、海外公演でも絶賛される人気演目です。

2020年9月

各 位

公益財団法人文楽協会

大阪市中央区日本橋1-12-10

TEL 06-6211-1350

FAX 06-6211-3609

拝 啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、(公財)文楽協会では全国の皆様方に、わが国の代表的な芸能「文楽」を身近に鑑賞していただくために、(独)日本芸術文化振興会の助成(芸術文化振興基金)を得て、毎年10月と3月に「文楽地方公演」を実施しております。

2021年度は

昼の部

【一 谷 嫩 軍 記】

熊谷桜の段

熊谷陣屋の段

夜の部

【曾 根 崎 心 中】

生玉社前の段

天満屋の段

天神森の段

と馴染み深い名作を携えて、全国各地を巡演してまいります。

日頃、文楽に親しんでいただく機会の少ない多くのお客様から「浄瑠璃を聞きたい」、「まるで生きているような人形を見てみたい」というお声をたくさんいただいております。

この機会に太夫・三味線・人形三位一体で醸し出す「文楽」のすばらしさをより一層楽しんでいただけますよう、技芸員をはじめ文楽協会一同努めてまいります所存でございます。

日頃から「文楽」に深いご理解と温かいご支援をいただいておりますことに、改めてお礼申し上げますとともに、日本が世界に誇ります伝統芸能「文楽」を、どうぞご当地で開催していただきますよう、心からお願い申し上げます。

敬 具

2021年度 文楽公演申し込み書

※お申し込み締め切り：2021年10月公演は2020年10月23日
2022年 3月公演は2020年11月27日

公演希望日

公 演 月	順位	希 望 日	公演回数	備 考
10月 公 演	第1	月 日 ()		①公演期日は9月30日～10月17日を予定 ②公演回数は原則として昼・夜2回
	第2	月 日 ()		
	第3	月 日 ()		
3月 公 演	第1	月 日 ()		①公演期日は3月3日～3月21日を予定 ②公演回数は原則として昼・夜2回
	第2	月 日 ()		
	第3	月 日 ()		

☆全国各地を順を追って公演しますので、希望日は参考とさせていただき改めて日程調整をさせていただきます。
また土曜日・日曜日・祝日はご希望が多いため要望に添えない場合があります。

公演会場

名 称				
所 在 地	〒 (-)			
連 絡 先	電 話		FAX	

添付資料 (添付の場合は○印をつけて下さい)

図 面	有・無	備 考
舞台平面図		
舞台側面図		
照明設備図		
客 席 図		
楽 屋 図		

平台・箱馬数

平台	寸 法	台 数
箱	馬	

主 催 者

ふりがな		ふりがな	
名 称		担当者	
課 ・ 係等		E-mail	
電話・FAX			
ふりがな			
所 在 地			

お申し込み月日

年	月	日
---	---	---